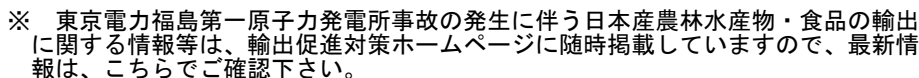


23 · 11 · 1 第123号

第123号



【輸出促進対策ホームページ】
<http://www.maff.go.jp/j/export/index.html>

目次

1. 研修会の参加者募集（輸出オリエンテーションの会）

- (1) 東海地区
 - (2) 近畿地区
 - (3) 中国四国地区
 - (4) 沖縄地区
2. 補助事業の補助金交付候補者募集（第3次公募）
（平成23年度輸出倍増サポート事業のうち「輸出に取り組む事業者向け対策」）
 3. 「六次産業化法」に基づく事業計画の認定について
 4. クロアチア向けに輸出される食品等に関する証明書の発行について
 5. 植物防疫所HPにイエメン、フィリピン、台湾及びアイスランド等の輸入規則等
詳細情報が新たに掲載されました

1. 研修会の参加者募集（輸出オリエンテーションの会）

農林水産省では、「平成23年度輸出倍増リード事業（輸出オリエンテーションの会の開催）」において、海外への販路を確保・拡大しようと取り組む農林漁業者・事業者を支援するため、輸出のためのノウハウ等の情報提供を行う「研修会」や日本国内において国内外の有力なバイヤーとの「商談会」の場をご提供します。

今般、この一環として、「東海、近畿、中国四国、沖縄」の各地区における研修会への参加者を募集しています。

参加費は無料ですので、以下の参加者募集のホームページをご参照の上、ご応募下さい。

(1) 東海地区

日 時：平成23年12月5日（月）13:30～17:30
会 場：ウインクあいち（愛知県名古屋市）
応募締切：平成23年11月24日（木）

(2) 近畿地区

日 時：平成23年11月15日（火）13:30～17:30
会 場：天満研修センター（大阪府大阪市）
応募締切：平成23年11月11日（金）

(3) 中国四国地区

日 時：平成23年12月1日（木）13:30～17:30
会 場：岡山コンベンションセンター（岡山県岡山市）
応募締切：平成23年11月24日（木）

(4) 沖縄地区

日 時：平成23年11月29日（火）13:30～17:30
会 場：かんぽの宿 那覇レクセンター（沖縄県那覇市）
応募締切：平成23年11月22日（火）

【参加者募集URL】
<http://www.itb.co.jp/shop/hojinosaka/info/seminar/>

- ※ いずれの会場も定員は100名であり、定員になり次第、募集を締め切らせていただきます。
- ※ バイヤーとの「商談会」は、後日開催予定であり、改めて募集します。
- ※ 今後、「北海道、東北、関東、北陸、九州」の各地区についても募集します。

2. 補助事業の補助金交付候補者募集（第3次公募） （平成23年度輸出倍増サポート事業のうち「輸出に取り組む事業者向け対策」）

本事業について、補助金交付候補者の第3次公募中ですが、公募締切が11月30日（公募参加表明書等の提出期限：11月24日）となっています。

本事業のより多くの活用を図る観点から、第3次公募締切の申請分については、補助事業費（国庫補助金額）の下限値を撤廃しています。

具体的には、第2次公募までは、総事業費400万円（国庫補助金額200万円）以上の事業計画を公募の対象としていましたが、上記金額以下の事業計画でも応募できます。詳しくは、以下の公募ホームページをご覧ください。

【公募URL】
http://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/kokusai/110502_1.html

【事業の概要】
農林水産物・食品の輸出に取り組む民間団体等を対象に、明確な目標を設定し、戦略的に輸出拡大プロジェクトを実施する取組に係る経費に対して、事業費の1/2以内を支援します。

なお、放射性物質の検査に要する経費も補助します。

【公募スケジュール】
公募期間：平成23年5月2日（月）～11月30日（水）
公募締切：11月30日（水）
（注）上記の公募締切に先だって公募参加表明書等を以下の提出期限までに提出する必要があります。
公募参加表明書等の提出期限：平成23年11月24日（木）

3. 「六次産業化法」に基づく事業計画の認定について

農林水産省は、「地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出等及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律（六次産業化法）」に基づき、申請された事業計画を平成23年10月31日に認定しました。

今回の認定件数は151件で、認定累計件数は403件となりました。

今回、輸出に関する認定事業計画は、以下の1件が含まれています。

【輸出に関する認定事業計画】
事業名：「リカステ」（ランの一種）の輸出事業
事業概要：開花期間がほかのランより長く、色の種類が豊富で、可憐で表情豊かな新品種のリカステの特徴を生かし、有利販売が可能な販売方式として新たに輸出を開始することにより、自社の経営基盤の確立を図る。

計画の認定を受ければ、

- ・農業改良資金（無利子資金）の特例適用、短期運転資金（新スーパーS資金）の活用
- ・認定後の事業実施についても定期的に6次産業化プランナーがフォローアップ
- ・新商品の開発や販路拡大の取組に対して3分の2の補助が可能

といったメリットを受けることができます。

次回の認定は平成24年2月末を予定しており、引き続き申請を受け付けていますので、輸出に取り組む者におかれましても、ぜひご活用下さい。

詳しくは、以下のプレスリリースをご覧ください。

【平成23年10月31日付けプレスリリース】
http://www.maff.go.jp/j/press/soushoku/renkei/111031_1.html

4. クロアチア向けに輸出される食品等に関する証明書の発行について

東京電力福島第一原子力発電所事故に伴い、諸外国からは、日本産の農林水産物・食品に対する輸入規制措置が講じられ、産地証明や放射性物質に関する検査証明などが求められています。

このような中で、クロアチア政府は、「EUと同じ規制を適用する」とこととしたので、お知らせします。

EU向け輸出証明書の手続は、以下のホームページに掲載しています。

【東京電力福島第一原子力発電所事故に係る諸外国への輸出に関する証明書発行について > EU向け輸出証明書】
http://www.maff.go.jp/j/export/e_shoumei/shoumei.html#eu

5. 植物防疫所HPにイエメン、フィリピン、台湾及びアイスランド等の輸入規則等詳細情報が新たに掲載されました

植物防疫所では、各国のホームページ、各国からの連絡等から入手した「輸入規則等詳細情報」を整理し、植物防疫所ホームページに掲載しています。
今般、以下の国・地域の情報が新たに追加されましたので、お知らせします。

【新規追加】

(平成23年10月28日付け追加)
イエメン、フィリピン、台湾

(平成23年10月27日付け追加)
アイスランド、アゼルバイジャン、アルバニア、アルメニア、ウズベキスタン、カザフスタン、キルギス、クロアチア、スイス、タジキスタン、トルクメニスタン、トルコ、ノルウェー、ベラルーシ、モルドバ

※ 当該情報は、以下のホームページに掲載していますので、ご参照下さい。

【植物防疫所：各国の輸入規則等詳細情報】
<http://www.maff.go.jp/pps/j/search/ekuni/index.html>

発 行

〔農林水産物等輸出促進メールマガジン〕
発行：農林水産省
食料産業局 輸出促進グループ（産業連携課 海外展開・輸出促進室）
（〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1）
代表：03-3502-8111（内線4311）
ダイヤルイン：03-3502-3408
FAX：03-6738-6475
このメールマガジンに関するご意見・ご要望又は転載を希望する場合は、当グループまでお問い合わせ下さい。

当メールマガジン及びバックナンバーは、以下の輸出促進対策ホームページに掲載しています。
http://www.maff.go.jp/j/export/e_mailmaga/archive.html

お知り合いの方に「農林水産物等輸出促進メールマガジン」をご紹介下さい。
当メールマガジンの配信登録、配信変更及び配信解除等は、以下のホームページから手続することができます。
<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>